

令和5年度 稲作情報 No. 2 十日町版

令和5年4月7日発行
十日町地域農業振興協議会
JA 十日町、JA 津南町、十日町市、津南町
中魚沼 NOSAI センター、十日町農業普及指導センター

気象変動や生育状況に対応した柔軟な栽培管理の実践

水稲栽培に役立つ情報を LINE で簡単に受け取れます！

- 本年の生育・気象状況に応じた栽培管理
- 緊急情報(フェーン・異常高温等)
- 基本栽培技術
- 研修会の案内 等



QRコード読み取り
→簡単に友だち登録

ID 検索: @219dutc

十日町農業普及指導センター(水稲情報)

● 目標収量と構成要素



気象変動による品質低下防止
適期中干しで適正籾数に！

1 本田の準備

(1) 土づくり

- 土壤診断結果に基づいて土づくりを行いましょ。
- 全域的に多くのほ場でケイ酸が不足しています(図1)。春または秋の耕耘前、もしくはケイ酸を多く吸収する出穂40~35日前頃に施用しましょ。
- 地区によっては鉄も不足しています(図2)。ほ場内の鉄が不足すると、ワキの発生や秋落ちをもたらします。春の耕耘前に施用しましょ。

ケイ酸不足
(15mg/100g未滿)ほ場が
約8割

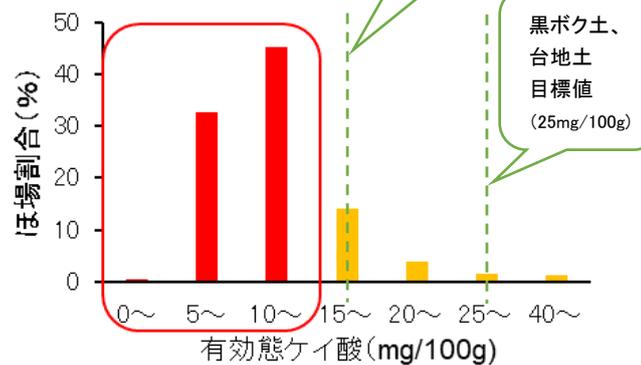


図1 十日町市の有効態ケイ酸含有量別のほ場割合(H30)

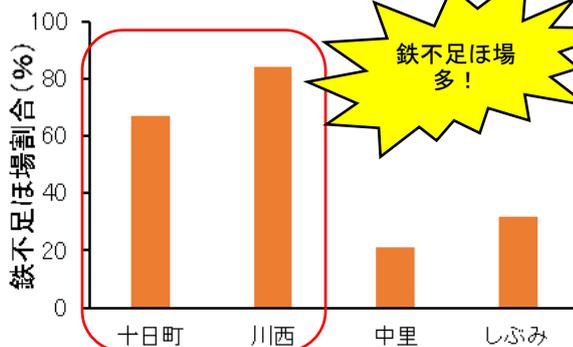


図2 各地区の鉄不足ほ場割合(H30)

<ケイ酸の施用効果>

- ・葉が直立し受光態勢が良くなる。
- ・根の酸化力を高め、根腐れ、下位葉の枯上がり及び、秋落ちを防止する。
- ・高温時、葉温が上昇しにくくなり、光合成の低下を防止し、登熟が向上する。
- ・病害虫に対する抵抗性が強まる。
- ・茎や葉が強剛になり節間が徒長せず、倒伏しにくくなる。

(2) 基肥

- 施用量は表1をめやすとし、地力や前年までの生育状況等を考慮しほ場ごとに調整しましょう。
- 全量基肥一発肥料の窒素施用量は、分施体系の総窒素施用量（基肥+穂肥）の8～9割とし、穂肥時に葉色が低下した場合は、追加の穂肥を施用しましょう。

表1 土壌タイプ別の基肥施用量めやす(分施体系)

土壌タイプ	成分量(kg/10a)		
	窒素	リン酸	カリ
粘質の湿田	2～3	4～10	4.5～6.0
作土の下に礫のある水田	3～4	4.8～10	
黒ボク土壌			
中里台地	5		

(3) 耕耘 作土深 15cm の確保

- 耕耘前になるべくほ場を乾かしましょう。耕深が一定となり、均一な生育に繋がります。
※ほ場が過湿状態では稲わらの腐熟が進まない上、生育初期から還元状態となり、稲の生育に悪影響を及ぼします。

○作土を 15cm と深くすることで、根の分布を広げ、収量・品質の向上につながります。

(4) 代掻き

- 練り過ぎると土壌の酸素が不足し、苗の活着や根張りが悪くなり初期生育が遅れます。
- 水持ちの悪いほ場は代掻きの回数を増やすなどし、丁寧に行いましょう。

2 移植（田植え）

- 表2のポイントを守り、健苗（稚苗：2.1葉、中苗：3.5葉）を適期に植えましょう。
- 葉いもち防除は育苗箱施用剤等で必ず行いましょう。
- 連続した欠株でなければ補植は不要です。補植をする場合は、除草剤散布前に行いましょう。補植苗の放置はいもち病発生の原因となるため、移植後直ちに除去しましょう。

表2 田植え作業のポイントと注意点

	ポイント	注意点
移植日	好天日	強風・低温時の移植 → 活着・初期生育の遅れ
栽植密度	50～60株/坪	多い → 過繁茂・細茎化 少ない → 茎数不足
植付本数	3～4本/株	多い → 過繁茂・細茎化 少ない → 茎数不足
植付の深さ	2～3cm	深い → 活着・初期生育の遅れ 浅い → 欠株の発生、除草剤による薬害

3 移植後の水管理

(1) 移植後の基本的な水管理

- 水を更新する場合は早朝に行い、日中は止水して水温の上昇を図りましょう。
- 活着した後は浅水とし、初期分けつを促進させましょう。※ただし、強風時は深水にします。

表3 水管理方法と目的

時期	水管理(水深)		目的
活着まで	深水管理	水深3～4cm(新葉が見え隠れする程度)	保温・苗の保護・活着促進
活着後～	浅水管理	水深2～3cm	分けつの促進

(2) ワキ、藻（アオミドロ）・表層剥離の防止対策

○ワキ(生わら等有機物の分解によって発生する有毒なガス)や藻・表層剥離が大量発生する前に用水を更新(夜間落水)しましょう。

※ただし、除草剤処理後7日間は落水しません。それ以降に落水をする際は、2～3日程度落水しても除草効果に影響はありません。

表4 ワキの発生程度とその影響

ワキの発生程度	水稻生育への影響	対策
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	用水の更新(夜間落水)
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	用水の更新を繰り返す
晴天時自然に気泡を発生し音が聞こえる。また水田を歩くと著しく気泡を発生する。	根の伸長阻害、地上部黄化	間断かん水



図3 ワキの発生が多いほ場

4 初期・初中期除草 ～斑点米防止の第1歩！雑草種に応じた効果の高い除草剤施用を～

○初期除草剤の移植前処理は、移植7日前までです。

○散布時の水深は3～5cm程度(フロアブル剤・ジャンボ剤・豆つぶ剤は水深5～7cmの深水)としましょう。薬害を防ぐため、低温または高温、強風時の散布を避けましょう。

○【遵守】除草剤処理後7日間は確実に水尻を閉め、落水やかけ流しはしません(かけ流し厳禁)。

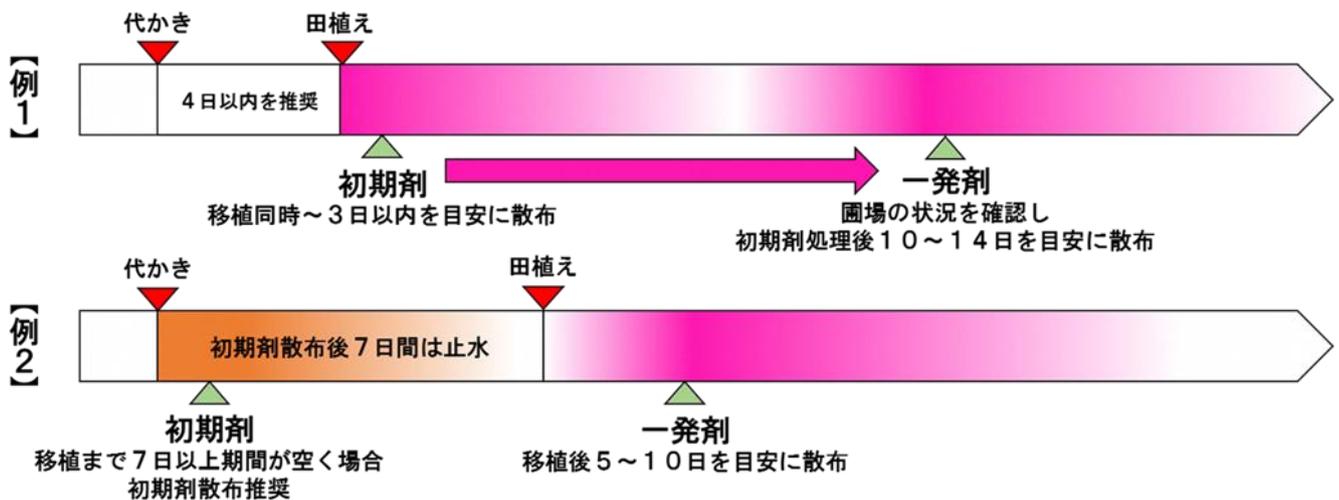


図4 効果的な除草体系(例)

※農薬を使用する場合は、農薬使用者が使用農薬の登録内容を確認し、自己の責任において使用してください。他の作物への農薬飛散に注意してください。生産履歴の記帳も忘れずに行いましょう。

※除草剤は、散布の晩限(田植え後日数)を必ず確認してください。

※初期剤において、例えば「植代後～移植7日前」という記載の場合は、散布して7日後から移植が可能という考え方となります。(5月10日に除草剤を散布→5月17日以降に移植可能)

JA十日町からの情報

1. 対策肥料ラインナップ



【保証成分】	
リン酸	苦土
1	2
加里	アルカリ
7	23
ケイ酸	
30	



【保証成分】		
ケイ酸	マンガン	(リン酸)
20	2	2.5
苦土	(鉄)	
1	12	
アルカリ	(ほう素)	
40	0.1	



【保証成分】	
リン酸	苦土
20	15
ケイ酸	アルカリ
20	50

①越後の輝き ソイル米スター

②農カアップ スーパー60

③ようれん(砂状)



【保証成分】	
リン酸	苦土
6	4
加里	アルカリ
4	17.5
ケイ酸	(腐植酸)
23	約3



【保証成分】	
ケイ酸	(リン酸)
30	2.7
苦土	(マンガン)
2	0.06
アルカリ	(鉄)
40	0.4



【保証成分】	
(リン酸)	(苦土)
7.0	3.0
(加里)	(マンガン)
6.0	3.0
(ケイ酸)	(堆肥割合)
8.0	30.0

④魚沼ロマンソイルキーパー

⑤スーパーシリカプレミアム

⑥稲サボ

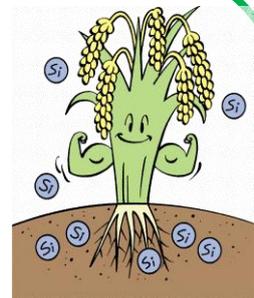
※保証成分内に書かれている()になっている成分は含有成分になります

2. 地区別オススメ肥料

【十日町・川西地区】

- 課題はケイ酸と鉄の不足を補うことです。
- また、加里も不足傾向にある管内のため、加里もしっかり補給してください。
- JA管内でも成分の不足が深刻な地域ですので、必ず散布をお願いします。

➡ **①、②、④、⑥**の肥料をオススメ！！



【中里地区】

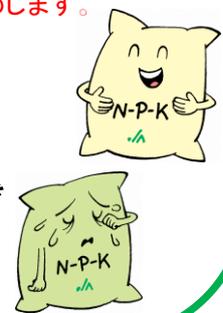
- 課題はケイ酸の不足を補うことです。
- 他の成分も必ずしも足りているわけではありませんので、土壌分析結果に基づきしっかりと成分を補給しましょう。

➡ **①、⑤**の肥料をオススメ！！ ※⑤は①、②に加えて追肥で使用をおすすめします。

【松代・松之山地区】

- 課題はリン酸・ケイ酸の不足を補うことです。
- 他の成分も必ずしも足りているわけではありませんので、土壌分析結果に基づきしっかりと成分を補給しましょう。

➡ **③、④**の肥料をオススメ！！



土づくりは良品質米を作り続ける基本となります！！
圃場の課題に応じて必ず散布しましょう！！

詳しくはJA十日町資材センター、各営農センターにご相談ください。